

「より多様な普通教育の創出に向けて」試案

夜間中学等義務教育拡充議連会長
超党派フリースクール等議連幹事長

馳 浩

個別学習計画

- ・保護者と児童・生徒が、必要な支援を受けつつ、作成
- ・市町村教育委員会または国の定める機関が認定
- ・学校教育法第21条の10項目

ICTを活用した学習ログの蓄積と分析を通じ、個別学習計画を随時改善し、適切な支援・助言をもとに常に最適化するサイクルの構築

学習ログ（データ蓄積・分析）

- ・ICTにより、日々の学習履歴や図画工作作品等をデータとして蓄積
- ・評価・支援・助言、個別学習計画の修正に活用

学びの先端技術の活用 (社会と同じICT環境、AI・データ等の活用)

「個」に合わせた学び

- 認知特性や発達の特徴に応じた学習環境の決定
- 動画やAIを活用した自学自習と、学び合い
- 個々の到達度に応じ、学年を問わない学び
- 標準授業時数を目安にしつつ、学習効果の高い学び
- 通信制・単位制の長所の義務教育段階での活用

「居場所」を問わない学び

- 条件不利地においても、世界最先端の学びが可能に
- インターネットを通じて世界中・日本中の仲間とつながり、ともに未来を創造するSTEAM学習が可能に
- フリースクール等民間教育と学校教育が繋がる未来